

# 戸畑区自治会だより

発行年月日 令和2年1月1日  
 発行 北九州市戸畑区 千防一丁目1番1号  
 北九州市戸畑区自治総連合会  
 (戸畑区役所コミュニティ支援課内)  
 発行責任者 会長 三上久恵  
 電話 871-2335



年頭にあたり  
 戸畑区自治総連合会  
 戸畑区市民防災会連合会  
 会長 三上久恵

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より戸畑区自治総連合会及び戸畑区市民防災会連合会にご支援、ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。昨年をふりかえりますと一番の大きな出来事は、やはり5月に天皇陛下が即位され「令和」の時代が幕を開けたことです。日本中がお祝いムードに包まれたことは皆様の記憶に新しいことと思います。そんな新しい時代にふさわしい明るいニュースもありました。8月に女子プロゴルフの渋野日向子選手が全英女子オープンで初優勝を達成し、9月から開催されたラグビーワールドカップ日本大会では日本代表が史上初の決勝トーナメントに進出するなど、世界



新年のごあいさつ  
 戸畑区副会長  
 濱 武志

謹んで新春のお慶びを申し上げます。戸畑区自治総連合会及び戸畑区市民防災会連合会の会員の皆様には、日ごろから区政の推進にご協力をいただき、ともに、地域の防犯・防災、町内美化や見守り活動など「安全・安心なまちづくり」にご尽力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

昨年にも自然災害の多い一年となりました。8月には佐賀県を中心に豪雨被害が発生し、9月には「台風15号」、10月には「台風19号」が大きな被害をもたらしました。災害後の復旧活動や復興支援を目的のあたりにしますと、

を相手に目覚ましい活躍を見せてくれました。

その一方で、8月には佐賀県を中心とした豪雨被害、9月の「台風15号」が千葉県を中心に甚大な被害をもたらし、10月の「台風19号」では関東地方を中心に多数の河川が氾濫するなど、これまで経験したことのないような未曾有の災害が発生しました。被災地の一刻も早い復興を願うとともに、毎年のように発生する大災害を目的のあたりにして、決して他人ごとではなく、私たちの地域でも起こり得るものであるとの思いを強くしております。そして、そのような災害時には日頃からの活動で各地域の実情を十分に把握している自治会の力が最も重要になるものと思っております。

「令和」には「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められています。新しい時代を迎えて、地域の皆様と心を寄せ合い、地域を盛り上げ、安全安心で楽しく過ごせる文化を育んでいきたいと思っておりますので、会員の皆様方には、これまで以上にお力添えをいただきますよう、心からお願いたします。

結びにあたり、皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。令和二年 元旦

改めて地域の絆の大切さを再確認するとともに、日ごろから視察や研修などを通じて、災害時の連携・対応に取り組んでおられます皆様の活動に深く感謝申し上げます。今年も本市で「東アジア文化都市2020北九州」が開催されます。そのメイン事業の一つである「ART for SDGs」は、国連で採択された世界の開発目標である「SDGs」をテーマとしたアートフェスティバルで、北九州市立美術館でも開催が予定されています。この機会に戸畑区を訪れる多くの皆様にまちの魅力を実感していただきたいと思います。

区役所といたしましても、これまで以上に地域と一体となって、誰もが住みやすく、活力と魅力に溢れるまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、皆様には、さらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、戸畑区自治総連合会及び戸畑区市民防災会連合会のみならず、ご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和二年 元旦



年末年始 特別警戒 合同出動式

年末年始は、各種事件事故の増加が予想され、関係機関や地域住民が強い結束のもと、未然防止を行うことが重要です。12月3日(火)に、戸畑防犯協会連合会などの主催により、「年末年始特別警戒合同出動式」が開催され、濱戸畑区長、木敷戸畑警察署長、山本戸畑消防署長らのほか、地域で防犯活動に取り組む自治会関係者などが参加しました。

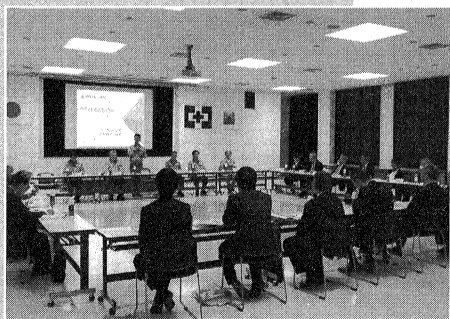
今回の各機関合同の出動式は相互の連携強化と防犯意識の高揚を図るもので、式典後はパトカー、消防車、青色防犯パトローラーなどが順次出動しました。

## 日本製鉄(株)八幡製鉄所との意見交換会を実施



戸畑区自治総連合会は年に2回、日本製鉄(株)と環境保全などに関する情報交換や施設の見学を行い、地域と企業の連携を深めています。

11月11日(月)に行われた意見交換会では、日本製鉄(株)から八幡製鉄所の現況や製鉄所内で行われている散水や環境パトロールなどの降下ばいじん対策の取り組みについて、北九州市環境局から市内における降下ばいじん量測定状況と北九州市の取り組みについて説明を受けました。また、散水の頻度やばいじん量の測定方法などについて質疑応答を行いました。



意見交換会では、日本製鉄(株)から八幡製鉄所の現況や製鉄所内で行われている散水や環境パトロールなどの降下ばいじん対策の取り組みについて、北九州市環境局から市内における降下ばいじん量測定状況と北九州市の取り組みについて説明を受けました。また、散水の頻度やばいじん量の測定方法などについて質疑応答を行いました。

令和元年度上期 降下ばいじん量測定結果 (単位: t/km<sup>2</sup>/月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	R1平均	H30平均
戸畑区	7.2	3.1	7.4	4.1	4.2	5.5	5.3	3.6
小芝アパート	4.3	3.4	6.8	5.0	5.0	3.4	4.7	3.8
中原市民センター とりはた玄海園支店センター	4.3	3.2	5.2	3.7	3.9	2.3	3.8	3.3※
浅生スポーツセンター	4.4	3.3	4.8	2.8	6.2	4.6	4.4	2.8
門司区	6.1	2.0	3.9	3.3	欠	7.4	4.5	3.5
小倉北区	4.0	1.7	4.1	3.3	3.9	4.4	3.6	2.4
小倉南区	5.6	2.6	3.4	1.4	2.5	4.6	3.4	2.5
若松区	4.0	3.6	4.5	2.5	4.4	4.8	4.0	3.3
八幡東区	4.9	2.0	5.1	2.4	3.8	3.9	3.7	2.2
八幡西区	3.6	3.0	3.8	1.7	3.3	3.3	3.1	2.5
全市平均	4.9	2.8	4.4	2.4	3.8	4.7	3.8	2.9

※平成31年4月26日より測定場所を西戸畑市民センターからとりはた玄海園支店センターへ変更しました。  
 ○左記データは戸畑区自治総連合会正副会長会議の場で、北九州市環境局より提供を受けた。

謹賀新年 令和二年元旦

戸畑区自治総連合会  
 戸畑区市民防災会連合会

会長 三上久恵 (天籟寺地区会長)  
 副会長 永井博文 (北沢見地区会長)  
 副会長 渡邊登 (東中原地区会長)  
 会計 竹内万司 (西中原地区会長)

東戸畑地区会長 吉本茂行  
 西戸畑地区会長 野口勝義  
 牧山地区会長 横田健治  
 牧山東地区会長 篠原伸憲  
 大谷第一地区会長 檜山弘之  
 大谷第二地区会長 三崎利彦  
 鞘ヶ谷・福柳本地区会長 坂本吉憲

東一地区会長 石橋義視  
 西一地区会長 坂本三夫  
 三六地区会長 井手國昭  
 南沢見地区会長 原田修  
 浅生地地区会長 和泉政良

羽根共同募金

福岡県共同募金会北九州市戸畑区支会  
 ご協力ありがとうございました。  
 各地区自治会戸別募金総額  
 3,975,103円 (12月3日現在)  
 皆様からの貴重なご寄付は、地域の  
 支えあいの活動から災害時の支援まで、  
 「みんなの町を良くする」  
 活動に幅広く使用させていただきます。



# 戸畑区市民防災会だより

発行年月日 令和2年1月1日  
発行 北九州市戸畑区 新池二丁目1番15号  
北九州市戸畑区市民防災会連合会 (戸畑消防署予防課内)  
発行責任者 会長 三上久恵  
電話 861-0119(代)

向こう三軒両隣り

みんなで気配り助け合い

消防に関する相談  
■消防訓練・救急講習などは  
戸畑消防署  
861-0119  
戸畑消防署大谷分署  
883-0119  
■災害情報を聞きたいときは  
トーカーサービス  
582-1234

## 令和元年度 戸畑区防災訓練を実施

令和元年11月30日(土)、北九州市立あやめが丘小学校で、北沢見地区、三六地区、南沢見地区の3地区合同で防災訓練を行いました。

●第一訓練 ▼最大震度6弱の地震が発生したと想定し、訓練が始まりました。各地区会長や防災委員(協議会長)が連絡を取り合い、近隣の公園に集合した後、あやめが丘小学校の体育館に避難しました。その際に、区役所職員が避難場所までの誘導や、安全管理を行いました。連携活動の重要性を再確認しました。

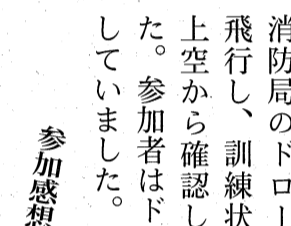
●第二訓練 ▼訓練では、①傷病者搬送訓練・防災用品展示、②応急手当訓練、



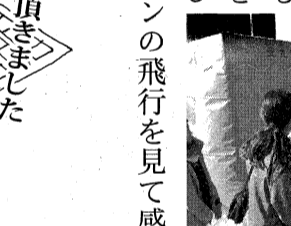
傷病者搬送訓練



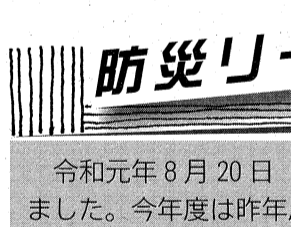
ドローンの飛行



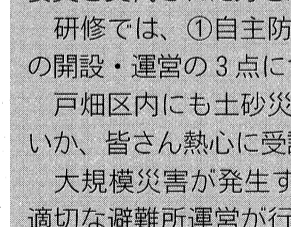
炊き出し訓練



煙体験



防災リーダー研修



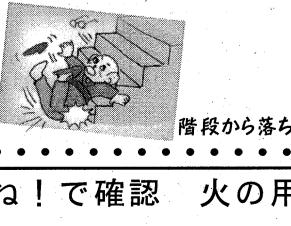
防災リーダー研修



防災リーダー研修



防災リーダー研修



防災リーダー研修

③初期消火訓練・煙体験・地震体験を3地区に分かれ、ローテーションで実施しました。

地震体験は、最大震度7の建物が倒れるような激しい揺れや、煙体験では煙による視界不良がどんな状況かを体験しました。

災害時の対策として、防災資器材の取り扱いや水消火器の訓練、また、けが人が発生した場合の応急手当の要領などを学びました。

また、食事を配る際の混乱を防ぐための段取りや避難者の配慮の大切さも学びました。

◆ドローンによる飛行訓練中では、消防局のドローンも飛行し、訓練状況を上空から確認しました。参加者はドローンの飛行を見て感心していました。

また、炊き出し訓練、豚汁やアルファ米などの非常用食料などを、訓練参加者の皆さんで美味しく頂きました。

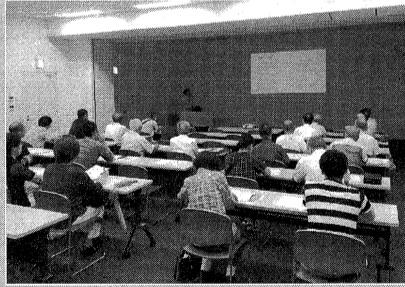
## 防災リーダー研修

令和元年8月20日(火)と31日(土)の2回に分けて、戸畑区役所で防災リーダー研修を実施しました。今年度は昨年度研修を受講出来なかった防災委員又は、今年度に各地区市民防災会長や防災委員を交代された方を対象にしました。

研修では、①自主防災組織、②防災リーダーの役割、③避難所の開設・運営の3点について説明しました。

戸畑区内にも土砂災害警戒区域に指定されている地域があるせいか、皆さん熱心に受講されていました。

大規模災害が発生すれば避難所での生活を余儀なくされます。適切な避難所運営が行われれば、健康維持とストレスの軽減もでき、関連死予防にも繋がると考えられます。



## 新年のごあいさつ



謹んで新春をお祝い申し上げます。

市民防災会連合会の皆様には、平素から自主防災活動に御尽力頂き心から感謝申し上げます。

昨年は「区防災訓練」や「防災リーダー研修」をはじめ、各地区で様々な防災訓練を積極的に実施して頂きました。皆様の自主防災に対する意識は高く、大変心強く思っています。

災害につきましては「台風15号」、「台風19号」が関東地方を中心に甚大な被害をもたらしました。その復興支援として全国から多くのボランティアが集まり、復興に向けて、多くの支援・協力の姿が報じられ、特にラグビーワールドカップ開催中の時には、カナダの選手が釜石市で土砂を片付けるなど、国境を越えたボランティア活動が行われ話題となりました。

戸畑消防署としましては、これからも様々な災害に立ち向かうべく、地域の皆様と協働して防火・防災に取り組む、その取り組みを通して皆様に寄り添い、また区役所等関係機関と連携を図りながら助け合う強い絆の「ONE TEAM」で戸畑区の安全・安心な街づくりに取り組んで参りたいと考えています。引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様が無事な新年を迎えられますよう、祈念いたします。新年の御挨拶とさせていただきます。

令和二年 元旦

戸畑消防署長 山本芳昭

## 意識が高まった防災訓練



僕は十一月三十日に行われた戸畑区防災訓練に参加しました。当日はとても晴れていて、校区の市民の人たちもたくさん参加していました。

僕は母といっしょに煙体験、地震体験、タンカの作り方などさまざまな体験をしました。家の中で起こったことを想像すると、とても恐しく感じました。また、けがをした時の応急手当を、身の回りの物を使ってどのような行動をしたら良いのかを学びました。新聞紙とタオルとビニール袋でスリッパが作れたり、骨折した時には雑誌とラップで固定できることを知りました。身近な物が使えておどろきました。最後に、非常食のけんちん汁とドライカレーをいただきました。お湯を注ぐだけなのに予想以上のおいしさでした。僕と母は、防災訓練に参加して意識が高まりました。自然災害はいつ来るかわからないので、じゅんびと心がまえをしていきたいです。

あやめが丘小学校四年 吉田謙信

## 戸畑消防署概況 (速報値)

(1月1日～11月30日)

●災害・救急出動件数

火災出動: 81件  
救急出動: 2548件  
あかきゆう出動: 214件  
※消防隊・救急隊連携救急活動  
救助出動: 38件

●火災件数と前年比

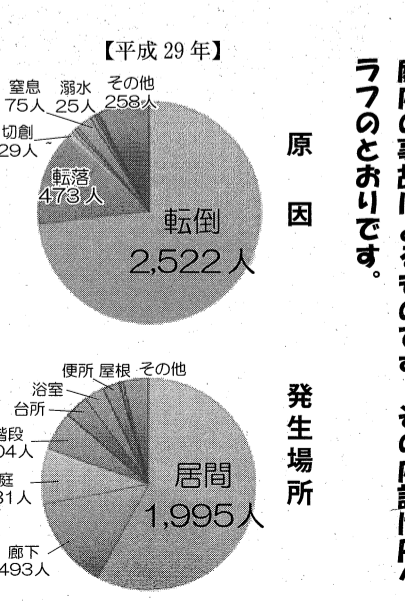
	R元年	H30年	増減
建物	7	11	-4
車両	0	0	0
その他	5	8	-3
合計	12	19	-7



生活の場にはちょっとした工夫を!  
(転倒・転落事故を防ぐために)



## 転倒と転落の事故事例



## 転ばぬ先の知恵

(家庭内における事故防止対策)

高齢者のケガは、半数以上が家庭内で発生しています。安全と密着している家庭内にも様々な危険が潜んでいます。家庭内の事故を予防して健康で過ごしやすい生活を送りましょう。

高齢者6,092人がケガ(一般負傷)で救急搬送され、うち3,443人(約57%)は家庭内の事故によるものです。その内訳は円グラフのとおりです。